



1_ 町商工会館で開かれた勉強会の様子。参加者たちが真剣に耳を傾け、地域の歴史を学んだ 2_ 川桁駅をスタートする参加者 3_ 下館駅で改札する猪苗代高の生徒たち 4_ 沼尻駅に展示された、吾妻小と長瀬小の児童による軽便鉄道の絵画 5_ 酸川野駅で手作りの漬け物などを振る舞う「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」の皆さん



懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて

ウォーキングイベント「第17回懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」は9月26、27日の両日、旧路線跡などで開催されました。町商工会青年部などで作る実行委員会が主催したこのイベントには、約200人が参加。27日にはJR川桁駅から中ノ沢温泉までの約18kmの旧路線跡を歩きました。

参加者は、黄金色になった稲穂を眺めながら思い思いのペースで歩き、心地よい汗を流しました。

終点では、宿泊券や町の特産品などが当たる抽選会や民話の語りが行われたほか、手打ちそばや豚汁も振る舞われ、参加者から好評を博しました。

ことはボランティアとして猪苗代高の生徒が初参加。9月2日には勉強会を開き、講師を務めた「いなわしろ民話の会」の鈴木清孝会長と「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」の安部なかさんがそれぞれ町の歴史や沼尻軽便鉄道について解説し、同校の生徒や町商工会青年部の部員たちが古里について理解を深めました。



町役場を訪れた中村さん(右)



盲導犬との歩行体験をする森田課長(左)

日本盲導犬協会仙台訓練センター普及推進部の目黒隆之さんはこのほど、町役場を訪れ、前後公町長に町内における盲導犬受け入れの促進を要望しました。

目黒さんは、身体障害者補助犬法により、店舗や施設などへの盲導犬の同行は認められていると説明。目黒さんと共に訪れた、町内在住で盲導犬の貸与を受けている中村明雄さんは「飲食店で盲導犬の入店を断られることが多い。盲導犬は普通のペットとは違うので、皆さんのご理解とご協力をお願いしたい」と要請しました。前後町長は「町民の皆さんに周知し、正しく理解してもらいたい」と話しました。

庁内では盲導犬との歩行体験が行われ、森田茂夫保健福祉課長がアイマスクを着用し、訓練士の説明を受けながら盲導犬の誘導で廊下を歩きました。

参加者・実行委員会メンバー・高校生ボランティアの声



(左から)白岩靖彦さん・多喜子さん夫婦、村上早苗さん(郡山市)

このイベントに7回も参加している友人に誘われ、初めて参加しました。とても楽しく歩くことができました。途中の駅でいただいた花豆とこんにやくがとてもおいしかったです。終点では特産品が当たる抽選会やそばと豚汁の振る舞いもあって、とてもお得だと思います。ぜひまた参加したいですね。



猪苗代町商工会青年部 西村和貴部長

今回は、猪苗代高の生徒さんに「町の歴史に触れてほしい」「おもてなしの心を育んでほしい」との思いから、ボランティアとして参加してもらいました。歴史を知る人がいなくなれば、後の世代に伝えられなくなってしまいます。町の皆さんにもぜひウォーキングに参加していただき、町の歴史に触れていただきたいと思います。



猪苗代高生徒会長 長谷部宏仁さん(2年)

ボランティアとして参加したことで、町の元気な姿を見ることができたし、猪苗代は本当にいい町だと感じました。町外から通学していることもあり、町のことをよく知りませんでした。いろいろ分かってよかったです。町内で唯一の高校として、今後もさまざまなイベントに協力していきたいと思っています。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Nov.2015
11
No.661

今月の表紙



【撮影日】 10月17日
【撮影場所】 和みいな

ことしも大勢の親子が訪れた、和みいなハロウィン。今日はかわいらしく仮装して、パパやママと夜のお出かけ。イベントが始まると、子どもたちは目を輝かせながらお話を聞いたり、図書館を探検したりと、普段ではあり得ないシチュエーションを楽しんでいました。

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて
- 04 猪苗代町合併 60 周年記念式典を挙行
- 06 【写真特集】幼稚園・こども園・保育所運動会
- 08 平成 28 年度児童・園児募集
- 10 平成 27 年度上半期財政状況
- 12 まちのわだい
- 16 笑顔でこんにちは／いなわしろみらい会議 かわら版／スクールトピックス
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー